

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	あいわの里 子ども療育センター 放課後等デイサービス				公表日	令和8年 2月 12日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		活動や人数に合わせてホールや園庭を使用し、子ども達の動きが制限されないようにしています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		日々の子どもの人数に合わせて職員配置をしています。	その都度スタッフの配置数を考えています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		棚、トイレなどの動線を考慮して、片付けの配置を決めています。絵カードを使用し視覚的に分かりやすいように工夫しています。	机の高さが子どもに合わないなど、設備等はいろいろと工夫して環境上の配慮を心掛けています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		毎日、消毒・清掃をしています。危険なものが落ちていないか確認をしています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		個別対応（音に敏感な子ども、気持ちを落ち着かせる）ができるよう空間や部屋を整えています。	音を遮断することは難しいため、衝立等で代用していますが通気性が良くない為、過ごしやすい空間とはいえないという現状です。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		毎日作成する活動計画書をスタッフ間で共有し、振り返った内容を計画書に記録しています。	子どもの事や環境のことなど細やかなことまで打ち合わせをして、よりよい支援をしていきたいと思います。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			評価表を活用できていないので、会議やミーティングで共有し、業務改善に繋げていきたいと思います。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		毎日のミーティングで意見交換をしています。	ミーティングは実施しているものの、時間が足りず、細かい部分まで共有することが難しいです。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○			第三者による外部評価は行っていません。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		内部研修を毎月行っています。	日程、時間が合えば研修などに参加したいと思います。
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		職員間で意見を出し合いながら作成しました。昨年度からホームページに掲載してあります。	
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		半年に一度のご家族とのモニタリングで計画を見直し作成しています。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		月に一度のスタッフ会議にて計画書の評価、作成をチームで行っています。	時間の確保が難しいので、今後検討していきたいと思います。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		計画書は職員の手に取りやすい場所に保管し、その都度確認できるようにしています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		活動プログラムはその日の担当スタッフが立案していますが、子どもの状態や人数に合わせて変更しながら行っています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		季節ものや子ども達の好きなものを取り入れ変化があるように工夫しています。	子どもたちの気持ちを引き付けような、新しい内容のものにも挑戦していきたいです。

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○			子どもの状態や人数に応じて個別対応をすることはありますが、計画には記載しない事もあるので、予想できる範囲は記載していきたいと思います。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		その日のミーティングで、活動の打ち合わせや担当配置を共有しています。	細やかに支援の内容まで話せていないので今後密に話していきたいと思います。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○			できればその日のうちにその日の振り返りをしたいですが、時間の確保が難しいため、口頭で出来る範囲で話していきたいと思います。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		活動計画書にその日の気付きを記録しています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		半年に一度のモニタリングや職員間の意見交換を通して共通理解の上で見直し作成をしています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	○			制作活動・余暇活動、自立に向けてどう支援していくか話し合い、職員間で同じ対応をしていきたいです。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		自身で決めるまで待つようにしています。考えて行動できる力を育てたいです。	活動の時間によっては職員があらかじめ決めていたり、回答時間を制限することがあるので、できるだけ自己選択できるように配慮していきたいです。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		職員間で意見交換してから、担当者会議に臨んでいます。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		学校より年間行事計画を頂いて、把握しています。送迎場所・時間等について密に連携しています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○			
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		○		以前は行っていましたが、感染予防のために減っている状態です。機会を作りたいです。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○			
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		お迎えの際に、その日の子どもの様子をお伝えし情報共有しています。	今後も保護者と情報共有できる機会を大切にしていきたいと思います。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○		研修の機会があれば、情報提供に努めていきたいです。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		お迎えの際や、連絡帳に書かれている相談等に対応しています。その他気になるご家族へは、定期的に様子を確認するようにしています。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	○		父母の会活動はありませんが、年3回の保護者同士の交流会（茶話会）を行っています。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		コドモンアプリにて活動計画やお知らせ、アンケート等配信しています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○			職員は毎月避難訓練に参加しています。長期休みには子ども達の参加機会はありますが、全員ではないため、活動に取り入れる等の配慮が必要だと思います。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○			予防接種について、情報が合った場合には記録しています。てんかん、持病については入館前の担会で共有しています。服薬中の利用の際には情報をいただけるよう年度始めにお願いする予定です。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		危険な場面があった際には、職員間で情報共有し、記録することで改善できるように努めています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		外部研修の案内があった際は参加しています。	これからも研修に参加して、学びを深めたいです。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○				